

事業名	子ども医療費助成事業	
-----	------------	--

所管課	保険年金 課 (市民環境 部)
-----	------------------

事業の目的	<p>乳幼児等を養育している者に対して、当該乳幼児等に係る医療費の一部を助成し、もって乳幼児等の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>平成22年度は、10月診療分から対象に、小学校卒まで入院医療費の無料化を実施。</p> <p>平成23年度は、中学卒業まで拡大して実施する。</p>
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等 総合計画	宇陀市子ども医療費助成条例・助成条例施行規則
---------------	------------------------

事業の概要	平成23年度 予算積算概要				
	対象者	乳幼児	22年度開始	23年度新規	計
		0歳～就学前	小学1年～6年	中学1年～3年	
	区分	県補助対象	市単独	市単独	
	需用費	101			101
	役務費	767	20	128	915
	扶助費 (医療費)				
	県対象	21,130			21,130
	市単独	1,932	4,500	2,163	8,595
					29,725
				500	
小計	23,062	4,500	2,163	29,725	
貸付金	200	150	150	500	
償還金、 利子割引料	1			1	
計	24,131	4,670	2,441	31,242	
		7,111			
		(子ども医療入院無料化)			
事業の成果	<p>平成21年度 乳幼児医療費 決算22,090,916円</p> <p>対象者数・・・1379人(平成22年3月31日)</p>				
事業の目標	<p>乳幼児等を養育している者に対して、当該乳幼児等に係る医療費の一部を助成し、もって乳幼児等の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。</p>				
備考					

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	10,780
市 債	
その他	1,194
一般財源	19,268
H23 予算額	31,242
前年度 予算額	26,364
増減額	4,878

特定財源の状況
乳幼児医療費助成事業 補助金 10,780千円

事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業
-----	-----------------

所管課	健康増進課（健康福祉部）
-----	--------------

事業の目的	子宮頸がんは、子宮頸部にできるがんで、20～30代で急増し、日本では年間15,000人の女性が発症していると報告されています。子宮頸がんは、初期の段階では自覚症状がほとんどないため、しばしば発見が遅れてしまいます。このような状況を未然に防ぐために、子宮頸がんワクチンを接種し、がん予防を推進することを目的としています。		
	区分	No.	
	No.	区分名	
	款	4	衛生費
	項	1	保健衛生費
目	2	予防費	
細目	1	本庁予防費	

根拠条例等	平成22年11月26日付け健発1126第8号厚生労働省健康局長及び厚生労働省医薬食品局長通知
-------	--

総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進
------	----------------------

事業の概要	「子宮頸がん予防ワクチン接種事業」	
	<p>計画年度 平成23年度</p> <p>計画の概要 平成23年度に在学する中学校1年～3年生の女子生徒を対象として、子宮頸がん予防ワクチン接種料金を助成する。1人3回接種 15,939円/1回(内自己負担1,500円)</p> <p>※あくまでも任意接種である。</p> <p>事業費 9,355千円</p> <p>内 訳 委託料 9,100千円 ・ 事務費 255千円</p>	
財源の内訳	分担金	
	使用料	
	国 費	
	県 費	4,657
	市 債	
	その他	
	一般財源	4,698
	H23 予算額	9,355
前年度 予算額	0	
増減額	9,355	

事業の成果	子宮頸がん予防ワクチン接種をすることにより、子宮頸がんの発症を未然に防止し、がん発生率抑えることができる。
	特定財源の状況
子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金 県費 委託料4,550千円 " 事務費107千円	

事業の目標	増加する子宮頸がんを予防するため、子宮頸がん予防ワクチン接種料金助成し、市民の健康保持・増進に努める。 また、定期接種化に向けて国へ要望していく。
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	ヒブワクチン予防接種事業				
所管課	健康増進課（健康福祉部）				
事業の目的	乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するために、ヒブワクチン予防接種料金を助成することにより、接種の勧奨に努め、乳幼児の健康の保持・増進に努める。				
			一般会計予算		
			区分	No.	区分名
			款	4	衛生費
			項	1	保健衛生費
目	2	予防費			
細目	1	本庁予防費			

根拠条例等	平成22年11月26日付け健発1126第8号厚生労働省健康局長及び厚生労働省医薬食品局長通知
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「ヒブワクチン予防接種事業」	財源の内訳	
	<p>計画年度 平成23年度</p> <p>計画の概要 市内に在住する0歳から4歳児を対象に、ヒブワクチン接種料金を助成する。(4回～1回接種) 8,852円/1回(内自己負担 800円)</p> <p>※あくまでも任意接種である。</p> <p>事業費 7,300千円 (委託料 7,300千円)</p>	分担金	
事業の成果	ヒブワクチン予防接種をすることにより、乳幼児に死亡や重い後遺症を残すことのある小児細菌性髄膜炎への感染を予防することができる。	使用料	
		国 費	
事業の目標	日本では年間600人もの子どもがヒブによる髄膜炎にかかっていたと推定され、これらの重症感染症を予防し、乳幼児の健康保持・増進に努める。また、定期接種化に向けて国へ要望していく。	県 費	3,650
		市 債	
備 考		その他	
		一般財源	3,650
		H23 予算額	7,300
		前年度 予算額	0
		増減額	7,300
		特定財源の状況	
		子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金	
		県費 3,650千円	

事業名	小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業	
所管課	健康増進課（健康福祉部）	
事業の目的	乳幼児の肺炎・髄膜炎や急性中耳炎などの重症な細菌感染を予防するために、小児用肺炎球菌ワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努め、乳幼児の健康保持・増進に努める。	
	区分	No. 区分名
	款	4 衛生費
	項	1 保健衛生費
目	2 予防費	
細目	1 本庁予防費	

根拠条例等	平成22年11月26日付け健発1126第8号厚生労働省健康局長及び厚生労働省医薬食品局長通知
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業」	財源の内訳	
	<p>計画年度 平成23年度</p> <p>計画の概要 市内に在住する0歳から4歳児を対象に、小児用肺炎球菌ワクチン接種料金を助成する。(4回～1回接種)</p> <p>11,267円/1回(内自己負担 1,100円)</p> <p>※あくまでも任意接種である。</p> <p>事業費 11,000千円 (委託料 11,000千円)</p>	分担金	
事業の成果	小児用肺炎球菌ワクチン予防接種をすることにより、乳幼児に死亡や重い後遺症を残ることのある小児細菌性髄膜炎や重症な細菌感染を予防することができる。	使用料	
		国費	
事業の目標	小児用肺炎球菌ワクチンは、生後2か月から接種することができ、肺炎球菌による重い感染症を予防し、乳幼児の健康保持・増進に努める。また、定期接種化に向けて国へ要望していく。	県費	5,500
		市債	
備考		その他	
		一般財源	5,500
		H23 予算額	11,000
		前年度 予算額	0
		増減額	11,000
		特定財源の状況	
		子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金	
		県費 5,500千円	

事業名	療育教室「こあら教室」開設事業			
所管課	福祉 課 (健康福祉 部)		一般会計予算	
事業の目的	発達障害児及びその保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障害のある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。	区分	No.	区分名
		款	3	民生費
		項	1	社会福祉費
		目	2	障害者福祉費
		細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱
総合計画	基本計画 第2章第4節 障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち

事業の概要	発達障害児の早期療育の場とし、指導者の充実と関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。	財源の内訳	
	賃金 発達相談員12回×15,000円=180,000円	分担金	
	保育士45回×7時間×940円×5人=1,480,500円	使用料	
	交通費12回×1,000円+45回×5人×1,000円=237,000円	国 費	
	講師謝礼 200,000円	県 費	
	消耗品費 100,000円	市 債	
	食糧費(教室おやつ代) 200円×10人×12回=24,000円	その他	2,435
	障害保険料 10人×45回×30円=13,500円	一般財源	
	備品購入費 200,000円	H23 予算額	2,435
	合計 2,434,500円	前年度 予算額	958
	増減額	1,477	

事業の成果	発達相談員(臨床心理士等)の指導のもとに、これまでの療育の一層の充実と個別指導プログラムも取り入れ成長発達を促す。	特定財源の状況	
事業の目標	児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、且つ保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流を図る。	地域づくり推進基金繰入金 (住民生活に光をそぐ交付金積立分)	
備 考		2,435千円	

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業	
-----	----------------	--

所管課	保険年金 課 (市民環境 部)
-----	------------------

事業の目的	<p>母子家庭の母子の健康の健康保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もって、母子家庭の母子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>平成23年8月からは、県が父子家庭まで拡大し、ひとり親家庭等福祉として実施することに伴い当市も実施</p>
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	7	ひとり親家庭等福祉費
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費

根拠条例等 総合計画	宇陀市母子医療費助成条例・助成条例施行規則(23年3月議会で「ひとり親家庭等医療費」名称変更)
---------------	---

事業の概要	平成23年度 予算積算概要			
			平成23年度新規	
	区分	母子医療	父子医療	計
	需用費	22		22
	役務費	273	14	287
	委託料		500	500
	扶助費(医療費)			
	県対象	10,277	600	10,877
	市単独	2,011	0	2,011
	小計	12,288	600	12,888
貸付金	150	150	300	
償還金、利子及び割引料	1		1	
計	12,734	1,264	13,998	

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	5,505
市 債	
その他	832
一般財源	7,661
H23 予算額	13,998
前年度 予算額	15,072
増減額	13,998

事業の成果	<p>平成21年度 母子医療費 決算13,016,650円</p> <p>対象者数・・・654人(平成22年3月31日)</p>
-------	--

事業の目標	母子家庭の母子の健康の保持を図るため、その医療費の一部を助成し、もって、母子家庭の母子の生活の安定と福祉の向上に寄与すること(23年度より、父子家庭に拡大し「ひとり親家庭等」に名称変更)
備考	

特定財源の状況	
ひとり親家庭等医療費助成 事業補助金	
県費	5178千円
福祉医療費助成 事務費補助金	
県費	327千円
雑入	832千円

事業名	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)	
-----	-------------------------	--

所管課	福祉課(健康福祉部)	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	すべて乳児のいる家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う。	区分	No.	区分名
		款	3	民生費
		項	2	児童福祉費
		目	1	児童福祉総務費
		細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	次世代育成支援対策交付金交付要綱
-------	------------------

総合計画	基本計画 第2章第5節 子育て支援が充実したまち
------	--------------------------

事業の概要	平成23年度予算概要		財源の内訳	
	<ul style="list-style-type: none"> ・4,500円×190件=855,000円 ・1件当たり4,500円で宇陀市の助産師会へ委託 ・22年度まで健康増進課で行っていた新生児訪問事業より移行 ・対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。訪問により支援等が必要な家庭に対しては、必要に応じて、個別ケースごとに具体的なサービスの種類や内容等について、関係者とケース対応会議を開催し、その結果を踏まえ、支援の方法を検討していく。 		分担金	
			使用料	
			国費	608
			県費	
			市債	
			その他	
			一般財源	247
			H23 予算額	855
			前年度 予算額	540
		増減額	315	

事業の成果	平成21年度決算	平成22年度予算
	新生児訪問事業	517,500円

特定財源の状況
次世代育成支援対策交付金 608千円

事業の目標	乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児ストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。
備考	

事業名	乳幼児用補助装置貸与事業	
-----	--------------	--

所管課	福祉課（健康福祉部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	新生児から6ヶ月未満の乳児を保護養育している人を対象に、チャイルドシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。	
	区分	No.
	区分名	
	款	3 民生費
	項	2 児童福祉費
目	1 児童福祉総務費	
細目	1 本庁児童福祉総務費	

根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱
-------	-----------------------------------

総合計画	基本計画 第2章第5節 子育て支援が充実したまち
------	--------------------------

事業の概要	平成23年度予算概要	財源の内訳	
	<ul style="list-style-type: none"> ・8,600円×40件×1.05=361,200円 ・ダスキンレンタルオール奈良ステーションと委託契約書を結び、申請者には直接業者からベビーシートが貸与される。 	分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	362
		H23予算額	362
		前年度予算額	362
		増減額	0

事業の成果	平成21年度決算	平成22年度予算
	幼児用補助装置貸与事業	426,510円

事業の目標	宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用が義務付けられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。	特定財源の状況

備考	
----	--

事業名	地域子育て支援拠点事業				
所管課	学校教育課（教育委員会事務局）				
事業の目的	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				
			一般会計予算		
			区分	No.	区分名
			款	3	民生費
			項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費			
細目	3	本庁子育て支援センター費			

根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項 ◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則
総合計画	基本計画 第2章 第5節 『子育て支援が充実したまち』(子育て支援の充実)

事業の概要	平成23年度 予算積算概要 [単位：千円]		財源の内訳		
		講師謝礼(栄養士・歯科衛生士等)	50	分担金	
		支援センター行事記念品等	103	使用料	
		旅費	10	国費	
		運営消耗品	290	県費	
		燃料代	27	市債	
		印刷製本費(写真・封筒ほか)	100	その他	95
		光熱水費(電気)8ヶ月分:4ヶ月は保健C	880	一般財源	2,030
		光熱水費(水道)8ヶ月分	48	H23 予算額	2,125
		光熱水費(ガス)8ヶ月分	24	前年度 予算額	961
		医薬材料費	20	増減額	1,164
		通信運搬費(電話代・郵送料)	234		
		手数料(クリーニング・調律・検便・ごみ)	56		
		傷害・ボランティア保険	68		
	コピー借上料	144			
	原材料費(砂場)	10			
	総合体育館借上料	35			
	研修会参加負担金	26			
	計	2,125			
事業の成果			特定財源の状況		
			雑入 親子教室登録料	75	
			雑入 サークル登録料	20	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援サービスを充実させ、子育て家庭が必要とする情報の提供や地域における子育てネットワークの形成など、地域資源を活用した取り組みを推進する。 ・子どもが健やかに育つため、保護者に対する講習や教室など、子育てに対する教育・相談事業の充実を図る。 ・子どもや保護者、地域、世代間等、自由で気軽な交流・サークル活動などができる環境を整える。 		計	95	
備考					

事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金(子どもフェスタ2011)					
所管課	生涯学習課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費				
細目	1	本庁青少年活動費				

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第4節 生涯学習の充実 地域教育力の醸成

事業の概要	平成23年度積算概要	財源の内訳	
	実行委員会補助金 558	分担金	
事業の成果	子どもフェスタ2010(H22年度) 参加者 約1,500人 テーマ つながれ心！ ひろがれ笑顔！ 内容 紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト タイムトンネル・音楽コンサート・人形劇・ジュースの釣堀等	使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	558
		H23 予算額	558
前年度 予算額	558		
増減額	0		
事業の目標	子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。	特定財源の状況	
備考			